

2021年 令和3年

# 謹賀新年



宜野湾市長 松川 正則



宜野湾市議会議長 上地 安之

輝かしい希望に満ちた新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は本市政へのご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。また、昨今のコロナ禍におきまして、新しい生活様式を取り入れるなど引き続き、感染予防に努めながら、この難局を共に乗り越えていきましょう。

さて、国においては、少子高齢化や人口減少が進むと推測されるなか、本市では昨年6月に人口10万人に到達いたしました。今後ともすべての市民が安心して住み続けられるまちを目指してまいります。

本市の最大の課題である普天間飛行場の返還については、日米合同委員会による返還合意から24年が経過しており、市民は絶えず基地被害に晒される中で、今後も固定化はあってはならないとの危機感を持ち、一日も早い閉鎖・返還と、返還までの間の危険性の除去及び基地負担軽減を最重要課題として目に見える形で取り組み、早期に返還期日を確定するよう求めてまいります。

キャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区跡地については、土地区画整理事業等により、琉球大学医学部、琉球大学病院の移設を含め、『沖縄健康医療拠点を核とした都市機能と、水・みどり・文化が調和した住環境がつながるまち』として、今後返還される基地跡地利用の先行モデル地区にふさわしいまちづくりを引き続き進めてまいります。

普天間小学校の校舎増改築事業については、今年より本格的な校舎の工事に着手し、令和4年度末の完成を目指しており、校舎の安全性の確保及び教育環境の改善を図ってまいります。

築40年以上が経過した消防署我如古出張所については、令和3年度までに庁舎を全面改築し、防災拠点施設としての安全性を確保し、消防力の強化・充実を図ってまいります。

本年も「人がつながる 未来へつなげる ねたてのまち宜野湾」の将来都市像実現に向け、活気にあふれ、豊かで住みよいまちづくりを目指し、全力で邁進してまいりますので、引き続き市民の皆様のお力添えを賜りますよう心よりお願い申し上げます。

結びに、一日も早い新型コロナウイルス感染の収束と、新しい年が夢と希望に満ちあふれ、素晴らしい一年となりますよう皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

令和3年 新春

明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は市議会活動に対し、温かいご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年は、年初めから思いも寄らない新型コロナウイルス感染症、さらに7月には熊本県を中心に豪雨災害に見舞われ、これまで経験したことのない非常に厳しい一年でありました。特に新型コロナウイルス感染症拡大により緊急事態宣言が出され、様々なイベントの中止や新しい生活様式への対応など、皆様には予想もしていなかった事態に困惑されておられることと存じます。感染された皆様、被災された皆様にはお見舞いを申し上げますとともに医療最前線で奮闘されております医療従事者の皆様には、心からの感謝を申し上げたいと思います。

さて、今年は、新型コロナウイルス感染症拡大により延期となっておりました東京オリンピックが7月に、パラリンピックが8月に開催され、本市におきましても聖火リレーが行われる予定であります。このオリンピックがもたらす波及効果により、それに伴う経済や雇用の誘発も期待できるものと確信しております。

二元代表制の一翼を担う当市議会といたしましても、昨年の7月には、新型コロナウイルス感染防止対策のため、インターネット上にて、市議会で審査した議案等を議会活動として報告するとともに、市民の声を市政に反映させることなどを目的に、アンケートにより43件の貴重なご意見を頂きました。皆様から頂いたご意見やご要望は市政の課題として捉え、議会で調査や検証を行い、政策立案や市長への政策提言につなげるよう努めております。

本年も議会の最高規範となる「宜野湾市議会基本条例」を基に、市民の代表機関として、謙虚に丁寧な市民の負託に応え、その使命を果たすことに全力を尽くしてまいりますので、皆様のなご一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスによって多くの困難に見舞われましたが、新年は新型コロナウイルス感染症の終息を切に願い、市民の皆様にとりまして希望に満ちあふれた素晴らしい一年となりますよう祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

令和3年 新春

